

平成30年4月27日

## 都民ファースト代表質問への知事の関与について

東京都議会自由民主党  
幹事長 秋田 一郎

本日、前都民ファースト幹事長の音喜多議員が、小池知事が都民ファーストの議会質問全般に広く関与していたことを窺わせるデータを発表しました。

都民ファーストが、党として代表質問を検討するに際し参考にした文書ファイルに、作成者名「東京都」、保存者名「ecoyuri（小池知事のアカウント名）」というデータが含まれていたのです。

つまり、経済港湾委員会における樋口議員の「やらせ質問」にとどまらず、都民ファーストが党として取り組む代表質問そのものに、知事自ら関与していたことが疑われる事態となったのです。

都民ファーストの特別顧問であり、実質的な党首とも言える知事が同党の代表質問の作成に関与していた可能性があるのです。

都議会第一党の特別顧問として、知事が、都議会の審議を自分の都合のいいように操っていたということになれば、都議会に寄せる都民の信頼を根底から覆すものであり、断じて許されません。

しかし、小池知事は同日に行われた記者会見で、自分は承知していない、議会が対応すべき課題であると釈明するだけで、都知事としての責任を顧みない無責任な姿勢に終始しています。

よって、都議会自民党は小池知事、都民ファーストの会都議団そして小島敏郎都民ファーストの会都議団政調会事務総長は、本件と同様な、都や小島顧問（当時）が作成し、都民ファースト議員に渡った質問等は他になかったのかも含めて、都議会及び都民に対して明らかにするよう求めます。そして、都議会議長に対しては、都議会への信頼を回復するため、議会自ら真実の究明に乗り出すことを要望します。